生産者の皆様へ
果樹類のカメムシ類の被害にご注意ください！

果樹類のカメムシ類とは

- 果樹類（かんきつ、なし、かき、りんご等）の果実を吸汁加害するカメムシの総称であり、**落果や奇形果等の被害**を与えます。
- 主な種類は、**チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ**であり、主に森林のスギ、ヒノキなどの球果を餌に繁殖し、果樹園に飛来します。

主なカメムシ類

チャバネアオカメムシ

ツヤアオカメムシ

クサギカメムシ

被害の状況（なし）

防除対策

- カメムシ類の発生状況に応じて、以下のような防除対策を適切に実施してください。また、**スギ林やヒノキ林の隣接園では被害が多いことから、特に飛来状況に注意**してください。

〇速やかな薬剤散布の実施

都道府県の病害虫防除所が発表する発生予察情報などの病害虫の防除に関する情報を参考に、園内をこまめに見回り、飛来を確認した場合速やかに薬剤散布を実施しましょう。

（薬剤散布のポイント）

- カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。
- 薬剤散布による天敵類への影響により、他の害虫が発生することがあるので注意してください。
- 発生量が多いと予想される場合で、見回りが難しい場合には早めの薬剤散布を実施しましょう。

〇多目的防災網等の設置

例年発生の多い園地では、多目的防災網又は防虫ネットを設置しましょう。

（多目的防災網等の設置のポイント）

- 春の気温が暖かい場合、カメムシ類の活動が早まるおそれがあるため、早めに設置しましょう。
- 設置の際は、破れや隙間がないか念入りに点検してください。

〇袋かけの実施

なし、ぶどう等の有袋栽培の場合、早期に袋かけを実施しましょう。ただし、袋をかけていても、果実が肥大して袋に密着すると被害をうける場合があるので、注意してください。